

申込方法

下記参加申込書に必要事項をご記入のうえFAXまたはご持参いただくか、記載のQRコード(申込フォーム)からお申込みください。

参加申込書

「セミナー」および「ワークショップ」それぞれの欄にご記入をお願いします。

※お申し込みは、どちらか1方でも構いません。

女性リーダースタートアップ応援セミナー(6/3)

申込フォーム
QRコード



※1社から何名でもご参加いただけます。

参加者	お名前		所属部署・お役職	

【セミナー申込締切 2024年5月20日(月)】

管理職と女性社員のためのワークショップ(全3回)

申込フォーム
QRコード



※「経営者または管理職」と「女性社員」2名1組でお申込みください。

※3回すべてにご参加をお願いします。

参加者	お名前		所属部署・お役職	
	(経営者または管理職)			
	(女性社員)			

女性活躍に向けた取り組みに対する自社の課題をご記入ください。

例)「女性社員の管理職意識が薄い」「何から始めて良いか分からない」など...

【ワークショップ申込締切 2024年7月3日(水)】

※ご連絡先を記入ください。

事業所名	
ご担当者氏名	
連絡先電話番号	
メールアドレス	

【送付先】秋田商工会議所 検定・共済推進課 FAX:018-862-2101

ご記入いただいた情報は、当所からの各種連絡・情報提供のほか、参加状況の分析のために利用いたします。

女性リーダースタートアップ応援セミナー

人口減少と少子高齢化が全国で最も顕著に進む本県において、働く女性が活躍できる社会の実現が求められているため、当セミナーでは、経営者(管理職)と女性社員が共通認識を持ち、女性活躍推進を阻むアンコンシャスバイアス(無意識の偏見)の解消を図るとともに、女性のキャリアアップに対する意識醸成を推進しながら「女性活躍推進とは何か」を学んでいただきます。

日時 2024.6/3(月) 13:30~15:30 会場 イヤタカ 5F ハーモニーホール (秋田市中通 6-1-13) 参加費 無料 定員 100名

対象 女性活躍推進に関心のある企業の経営者・管理職および女性社員

講演内容

【テーマ】成長の鍵は、女性活躍にあり
~人も組織も秋田も強くなる~



【講師】野村浩子氏

ジャーナリスト
東京家政学院大学特別招聘教授

【講演内容】・なぜ、女性活躍推進が必要なのか
・女性活躍推進の現状や課題
・女性活躍推進を実現するためのポイント
(取り組み事例など)

講師プロフィール

1962年生まれ。日経ホーム出版社(現日経BP)発行の「日経WOMAN」編集長、日本初の女性リーダー向け雑誌「日経EW」編集長、日本経済新聞社・編集委員、淑徳大学教授などを経て、2020年4月東京家政学院大学特別招聘教授。財務省・財務制度等審議会、経済産業省・なでしこ銘柄基準等検討委員会、横浜市人事委員会など政府、自治体の各種委員を務める。

著書に『市川房枝、そこから続く「長い列」』『異なる人と「対話」する本気のダイバーシティ経営』など

講演
(60分)

事例発表
(30分)

■秋田県信用組合土崎支店 支店長代理 古内 美帆氏

取組内容 現役女性管理職と女性職員との交流会による仕事のやりがいや経験談などの意見交換や女性職員へのアンケート調査を行い課題解決に取り組むなど、女性管理職に対する意識醸成を図っている。
(2023年度 当所ワークショップ参加)

■東北電力ネットワーク株式会社秋田支社(総務広報) 佐藤 志乃氏

取組内容 「女性社員を対象にした働き方アンケート」や女性社員同士の「仕事と家庭を両立するための社内セミナー」を実施するなど、仕事と家庭や育児を両立しながらも働き続けることができる職場を目指した取り組みを行っている。
(2023年度 当所ワークショップ参加)

支援制度紹介
(30分)

■秋田県支援制度紹介(秋田県あきた未来創造部 次世代・女性活躍支援課)

■秋田市支援制度紹介(秋田市産業振興部 企業立地雇用課)

■事業紹介(秋田県中央男女共同参画センター)

【主催】秋田商工会議所 【共催】秋田県中央男女共同参画センター

【お問い合わせ】秋田商工会議所 検定・共済推進課 ☎018-866-6678 mail:kentei@akitacci.or.jp

管理職と女性社員のためのワークショップ(全3回)



女性の活躍を実現するための取り組みを検討・実行するために他社の現状や課題を学び、経営者(管理職)と女性社員が共通認識を持ち、女性活躍推進を阻むアンコンシャスバイアス(無意識の偏見)の解消や女性のキャリアアップに対する意識醸成を図りながら、自社の課題解決と女性活躍の推進を目的に実施いたします。

期日
全3回
※全てにご参加をお願いします。

第1回

2024.
7/23(火)

第2回

2024.
10/29(火)

第3回

2025.
1/28(火)

会場 ※全3回共通

イヤタカ (秋田市中通 6-1-13)

参加定員 30名(15社×2名)

※1社から経営者または女性活躍推進に係る管理職と女性社員のお二人での参加をお願いいたします。

開催内容

第1回 【日時】 2024年7月23日(火) 13:30 ~ 16:00
【場所】 イヤタカ 2F 【参加費】 1,000円(茶菓子代)

内容

- | | |
|----------------------|---|
| 1. オリエンテーション(30分) | <ul style="list-style-type: none"> ●6/3セミナー振り返り ●ワークショップ開催の目的と流れ ●昨年参加企業の取組や成果を紹介 |
| 2. グループディスカッション(90分) | <p>進行：ファシリテーター</p> <ul style="list-style-type: none"> ●管理職と女性社員に分かれ、グループ編成(5人×6グループ) ●女性のキャリアアップに対する自社の現状 ●課題を話し合いながら自社に必要な取り組みを探る |
| 3. まとめと今後の流れ(30分) | <p>進行：ファシリテーター</p> <ul style="list-style-type: none"> ●各グループのディスカッション内容を報告 ●今後の取組計画作成の流れとポイントを説明 |

【帰社後】受講内容を踏まえ、女性活躍を実現するための取組を各社で計画し、事前配布した「取組内容報告書」を当所へ提出していただきます。

第2回 【日時】 2024年10月29日(火) 13:30 ~ 16:00
【場所】 イヤタカ 3F、4F 【参加費】 1,000円(茶菓子代)

内容

- | | |
|----------------------|---|
| 1. 取組発表(30分) | ●参加企業の取組内容発表 |
| 2. グループディスカッション(90分) | <p>進行：ファシリテーター</p> <ul style="list-style-type: none"> ●取組内容を検討して気付いたことや新たな課題などを話し合う |
| 3. まとめ(30分) | <p>進行：ファシリテーター</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ディスカッションの内容報告 ●発表に対するアドバイス(改善点や今後の進め方など) |

【3回目開催前】事前配布した「取組内容(状況)報告書」を作成し当所へ提出

第3回 【日時】 2025年1月28日(火) 14:30 ~ 17:00
【場所】 イヤタカ 4F 【参加費】 8,000円(懇親会参加費)

内容

- | | |
|-------------------|--|
| 1. 成果報告・質疑応答(90分) | ●参加企業から取り組みに対する成果報告を発表 |
| 2. アドバイス(60分) | <p>進行：ファシリテーター</p> <ul style="list-style-type: none"> ●成果報告に対するアドバイス ●今後の取り組むべきことや事例紹介 |

17:00 ~ 参加者同士の交流継続を目的に懇親会を開催します

【参考】

2023年度ワークショップ参加企業の取組みと成果

昨年度のワークショップにおいて、参加企業が、女性活躍を実現するために自社の現状分析や課題を抽出し、取り組みを計画・実行しました。その取り組み内容と成果は次のとおりです。

取り組み	実施方法	取り組み成果
女性管理職との交流会	管理職から成長のコツや意識の変化、家庭との両立の仕方など、本音を交えて懇談	<ul style="list-style-type: none"> ●キャリアアップのロールモデルとしてイメージができるようになった。 ●仕事に対する意識が向上、管理職を知る良い機会となった。
経営者・役員との懇談会	女性社員が本音を話せる場として実施	●女性が管理職を目指すことが出来る職場環境の改善に向け、方向性を定めることができました。
女性社員のヒアリング調査	女性社員が警戒しないよう配慮し、個別に実施	<ul style="list-style-type: none"> ●社員の思いや考えを知り、時代に即した組織づくりに直結できる良い機会となった。 ●女性社員の生活ニーズに応じた新制度導入を検討することになった。
社内で働き方改善セミナー	外部講師により「仕事と家庭の両立」をテーマにグループワークを実施、社内報で実施報告	<ul style="list-style-type: none"> ●理想の職場環境や現状、自分たちが改善できることについて、課題や悩みを参加者同士で共有できた。 ●社内報告により、他の社員からも共感の声が寄せられた。
女性活躍推進チームを編成	管理職以外の男女職員7名で構成し、課題解決策を検討	<ul style="list-style-type: none"> ●女性の制服着用の自由化、掃除当番の廃止につなげることができた。 ●デスク回りの整理整頓策を検討し、新たに書棚を設置することで、業務効率の向上に繋がった。
女性社員の事務作業を軽減	トップダウンにより、社員の自己完結力の向上を目的に全社員を対象に実施	●女性と男性の業務負担の差が減った。男女問わず社員の業務遂行能力の向上に繋がった。